

「作ってみよ～！手作りおもちゃ♪」 Vol.8

♪魔法のキューブ（立方体）♪

子育てに奮闘している、ママ、パパ！
子どもにとって食事が体の栄養なら
「あそびは心の栄養」



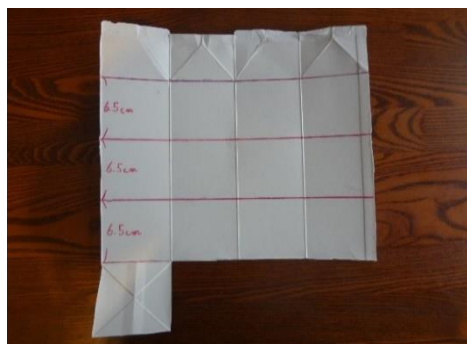
今回もまた牛乳パックを使ったおもちゃ、「魔法のキューブ(立方体)」です。なぜ魔法？それは、バラバラの状態から立方体を組み立てるキューブパズルとして遊べますが、その後サイコロとして遊んだり、他にもアイデア次第でいろんな遊びが楽しめるからです！
さあ、2個作ってお子さんと一緒にどんな遊びを考え出しますか？

【材料】 キューブ2個分

- ・牛乳パック 2個
- ・カラーシール（丸）中、または小
- ・シールおりがみ、またはおりがみ

【道具】

- ・ハサミ
- ・定規
- ・セロハンテープ
- ・ボールペン
- ・油性ペン
- ・色鉛筆
- ・のり（おりがみ用）



【作り方①】

- ・図のように、牛乳パックを開き、上の注ぎ口と底の部分を切り取る。
（牛乳パックの側面の高さがそのまま必要になるので、底面ぎりぎりできれいに切り取ること！）
- ・6.5cmの幅の間隔で線を引き、ハサミで3枚に切り分ける。



【作り方②】

- 白い方を表にして、両端をセロハンテープでとめて四角い輪を2個作る。もう1枚をその2つの輪に通してセロハンテープでとめて3つの輪をつなぐ。
（セロハンテープは6.5cmよりも長く切り、両端を裏側に折り返してしっかりはる。）



(ア)



(ウ)

(イ)



(エ)



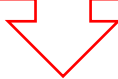
【作り方③】

- (ア) 3つの輪を組んで、2つとも立方体にする。
- (イ) 2個とも丸シールを貼りサイコロの目を作る。
(丸シールは、向かい合う面の目の数が足して7になるように貼る。)

【作り方④】

- (ウ) サイコロになった立方体をいったんくずして、また2個ともすべて白い面になるように組み直す。
- (エ) 次にどんな遊び方をするかを考えて、シールおりがみを貼ったり絵を描いたりする。

**これで2種類の顔を持つ魔法のキューブができあがりました。
さあ、どんな遊びをするかは皆さん次第です。
そこで、いくつか遊び方の例をあげてみましょう！**



《1、キューブパズルとして》



組み上がっているキューブをいったんくずして、もう一つの顔のキューブにしてみましょう。

サイコロにする場合は、図のような状態にして①の上、右、下の3面はサイコロの目で、②の前と左の2面もサイコロの目にして、右にずらして①に差し込む。最後に③の後ろの面をサイコロの目にして、キューブに差し込むと出来上がり！

※向かい合う面の目の数が足して7になっているか確認してくださいね！

《2、サイコロとして》

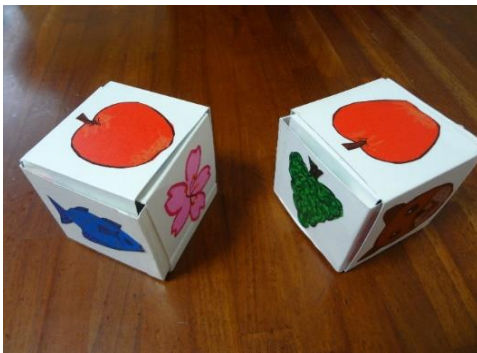
幼児と遊ぶなら、親子でそれぞれ1個ずつ転がして、どちらが大きい数かな？と、まずは数の認識。

計算ができるようになったら、2個を同時に転がして、足していくつ？ あるいはかけていくつ？ など、遊びながら学べる知育玩具にもなります。

さらにゲームとして、「足して引いてピッタリ！」何人かで順番にサイコロを転がして、出た目を足していき、ある決めた数、例えば20だったら、足した数がピッタリ20になった人が勝ち！ただし20を超えた場合は、次の人はその数から出た目を引く。それでもだめなら、足したり引いたりして、20ぴったりを目指すというゲームです。



《3、絵合わせ》



お子さんが知っているもの、大好きなものなどの絵を2枚ずつ6組描いて、それぞれのキューブに貼ります。親子でキューブを転がして、いろんな遊びを楽しんでくださいね。

《4、なかまさがし》

キューブのそれぞれの面に、「動物」、「花」などの総称を書いて貼り、転がして出た面のなかまをひとつ答える。

それぞれの面に貼る総称の内容を変えれば、幼児向けから、あらゆる年代にまで使えます。

例えば小学生には「きへん」、「くさかんむり」などの部首の名前を貼り、転がして出た部首の付く漢字をひとつ書いてみよう！

また九九が苦手なら、覚えにくい九九を貼って転がして出た数字、例えば「42」になる九九は？など、お子さんの勉強にも役立ちますよ。

また、きれいにはがせるタイプのシールを使うと、貼り直して内容の種類を増やすこともできます。



ちなみに老人ホームでも人気があります！